



ふぁみりーさぽーと のあ 認可保育園へ！

ふぁみりーさぽーと “のあ”は、「愛されて育つ」をモットーに、地域に根差して保育に取り組んでいます。このたび、開園当初からの念願が叶い、認可保育園移行に向けて整備する保育園に選ばれました！一般財団法人オアシスは交渉関係を担当し側面よりサポートしました。今回は、園長の徳武あさひさんに、お話を伺いました。



“のあ”が入っている野七里のクリスタルチャペル。1階が“のあ”です

「世間では、子どもたちへの虐待が増える一方、その家族に届き得ない現状があります。子どもたちを守り、そして、子育てに行き詰らないように、ご家族もサポートしていきたい。そのような思いから、志を同じくするスタッフが集まり、2002年4月に、“のあ”は、栄区の朝日平和台に認可外保育室として開所しました。当初の建物は坂道を登り切ったところにある、人通りも少ない場所でしたが、少しずつ子どもたちが集まってきてくれました。

2010年、今の栄区野七里の土地に移転しました。この広大な土地では子どもたちはリスを見掛けたり、裏山で探検ごっこをしたり、隣の人工

芝グラウンドでのサッカー練習を応援したり、のびのびと過ごしています。地域の方々と子どもの交流も生まれました。そして、“のあ”は認可外保育室から、横浜保育室になることができました。

でも、横浜保育室ではカバーしきれない点がありました。横浜保育室の助成金は3歳未満の子どもにのみ下りるので、3歳以上は保育料を高く設定せざるを得ませんでした。3歳まで子どもたちやご家族と良い関係を築いても、経済的な理由で3歳を過ぎると他の認可保育園に転園してしまう。0歳児から5歳児（就学前）をお預かりし、家族ごとサポートしたいという願いはあるものの、なかなか実現に至らない面がありました。

そのような中、子どもに関わる国の制度が変わり、認可保育園取得のチャンスがやってきました。満を持して申請をし、とうとう7月に、認可保育園へ移行する整備対象施設の1つとなりました。“のあ”にとって、長年の念願が叶った大きな前進でした。順調に進めば、来年4月から認可保育園になります！

たくさんの美味しい食べもの、素敵な洋服、有り余るおもちゃがあったとしても、子どもたちは心が満たされないことがあります。愛がなければ人の心は育っていかないのです。“のあ”では、人生の大切な土台を形成する幼児期の重要な時を、変わる事の無い神の言葉と愛とにより育まれるよう、親とスタッフで協力して取り組んでいきます。そして、同時に親とスタッフたちも育てられ、共に成長してゆくことを目指しています。」



▲全面ガラス張りの室内。光と緑の中で伸びやかに

▼お誕生会



▲隣接する人工芝グラウンド

▼ご家族も参加して焼き芋大会



▲保育スタッフ(前列中央が徳武園長)

▼手作りのお誕生日ケーキに入学！

▼クリスマス恒例の子どもたちによる降誕劇

